

2019年度第2回（通算第34回）POC技術委員会
議事録

日時：2019年10月4日（金）10：30～11：50

場所：パシフィコ横浜会議センター（511+512号室）

参加：敬称略

△谷直人、菊池春人、福田篤久、桑克彦、山田修、坂本秀生、櫛引健一、小林隆

東野功嗣、滝野寿、岡田健、山崎家春、後藤慎一、竹澤理子、久保田芽里、三好雅士、太田麻衣子、服部聡、木下敬一郎、江原佳史、福岡京子、木下陽介、乗船政幸、繁正志、木下真紀、佐藤寛、大戸秀夫、奥村道之、弘田浩之、福田滋弘、水戸部晶、渋谷未来、吉尾仁美、薬師寺小百合、樋渡亮二、工藤僚康、小花裕二、二宗みのり、奥田優子、岡尚人
フマウイド・マリジョイ（オブザーバー）

記録：岡尚人

1. 委員長あいさつ

福田

本委員会では、現状の課題、問題に関しては協議しまとめ、理事会での承認を

得るために、委員の全面的な協力を仰ぎたい

目標は、所信表明に記載されている内容のとおりである。

【報告事項】

2. 委員会名簿と委員交代

後藤

富士フイルム株式会社 弘田よりフマウイド・マリジョイに交代

3. 終了した POC セミナーの報告：

後藤

1) 第70回 POC セミナー：

テーマ： 「血液ガス分析の知識と分析技術のコツを学ぶ」

開催日時： 2019年5月10日（金）14:00～18:00

参加者： 105人参加（スタッフ含む）

場所： 下関

運営関連： 第68回日本医学検査学会開催時・

認定救急検査技師制度・山口県臨床検査技師会

単位： 4単位（総論：1、運用技術：1、測定技術：1、記録・通信：1）

共催企業： シスメックス、アイエル、アボット、テクノメディカ、ノバ
シーメンス、ラジオメーター（略名を記載）

2) 第73回 POC セミナー：

テーマ： 「検査室外の機器の管理・運用」
日時： 2019年9月7日（土） 13:50～17:30
参加者： 81人参加（スタッフ含む）
場所： 長崎市ホテルニュータンダ
運営： 日本臨床衛生検査技師会 九州支部研修会との共催
単位： 4単位（総論：1、運用技術論：2、測定技術論：1）
共催企業： ロシュ、ノバ、積水メディカル、ラジオメーター
（略名を記載）

3) 第71回 POC セミナー：

テーマ： 「Point of care testing における精度保証」
～検査前および検査後プロセスを中心に～
日時： 2019年10月3日（木） 13:00～17:00（予定）
場所： パシフィコ横浜
参加者： 150名
場所： パシフィコ横浜
単位： 4単位：単位間違えがあり修了書には3単位と記載あり
HPやPOCC-MLにて対応策をアナウンスする
参加証明書が不足しており、不足分に関しては、学会事務局よ

り

郵送発送を実施する

共催企業： 栄研、アボット、三和化学、シーメンス、アークレイ、ロシュ
シスメックス（略名を記載）

4. 今後の POC セミナー：

各企画委員

1) 第10回 POC コーディネーター更新セミナー：

坂本

テーマ： 「POC コーディネーターとしての役割を考える」
日時： 2019年10月4日（金） 13:30～15:00
定員： 80名
場所： パシフィコ横浜 第VI会場（303号室）
単位： 1単位（総論）

2) 第72回 POC セミナー 別紙1

木下敬一郎

テーマ： 「活かす！POCT 感染症検査」
～備えあれば憂いなし！POCT と感染症について学ぼう～
日時： 2019 年 11 月 24 日（日）10：00～12：00 定員 70 名
定員： 70 名（募集概要：22 名登録済）
場所： 岡山コンベンションセンター
運営： 第 66 回日本臨床検査医学会学術集会 共催企画）
単位： 2 単位（総論）

3) 第 74 回 POC セミナー 別紙 2 服部

テーマ： 「コテコテの救命救急検査」
日時： 2020 年 2 月 2 日（日）10：00～12：00
定員： 70 名
場所： 千里ライフサイエンスセンター
運営： 第 30 回生物試料分析科学会年次学術集会 共催企画
単位： 2 単位（総論）

4) 第 75 回 POC セミナー 繁

テーマ： 「災害医療」をテーマに実施予定
日時： 2020 年 4 月 24 日（金）午後
定員： 未定
場所： 仙台 国際センター
運営： 認定救急検査技師制度・日臨技との共催
単位： 未定
共催： 未定

5. POC コーディネーター： 後藤

POC コーディネーター取得・更新状況

新規：11 名

更新：6 名

2019 年 8 月 POCC 取得者は 175 名（自動化学会会員：116 名）

各種質問に関しては、POC 技術委員会事務局へ問い合わせを統一する

POCT 認定新制度への移行に伴う特例制度を検討すべきとの意見あり

【審議事項】

6. POC 技術委員会内規に関して：

以下の内容が協議され、承認された。

3 条： 目的及び事業、活用 → 利活用

7 条： 委員は日本臨床検査自動化学会の正会員とする。

“必要に応じて外部委員を置くことができる”を追加する。

外部委員については、正会員の必要性は・・・

14 条： 副委員長 2 名→2 名以内（後日委員長より追加指示あり）

事務局長 → 事務局担当委員

事務局補佐 → 事務局担当委員補佐

その他：

- ・ POC コーディネーターは、認定 POC コーディネーターとする
- ・ 学会名を変更する
- ・ 開催概要（企画書）に記載する幹事委員は、企画委員とする
- ・ メールにてセミナーの審議を行う場合は、メールタイトルにセミナー第 XX 回 POC セミナー（開催地）とすることを徹底する

7. 認定 POCT コーディネーター制度について：

福田

認定 POC コーディネーター制度 WG と改名し活動を実施中

POC 技術委員会の委員で POCC 研修修了書を取得している方は 11 月半ばまでに、レポート提出によりでは認定 POCC へ移行させる

上記については理事会承認後、2020 年 1 月以降に認定される予定で進めている

2020 年 1 月時点で POCC 研修修了書を取得された方々は移行措置対象として、所定のレポート提出により認定 POCC へ移行させる

テキスト：認定用テキストについて委員の協力を得て作成する

テキスト用雛型を作成し、それに従って作成する

発刊予定： POC ガイドラインは自動化学会誌の別冊であるが、教本に関しては販売の有無に関しては理事会判断を仰ぐ

テキスト編集担当に関しては、今後検討が必要である

用語の統一は、編集段階で統一する方針である。

*時間がなく福田委員長の説明だけでは、十分な審議ができないため認定制度については、メールにて意見をいただくこととする

*認定 POCCWG 議事録についても今後委員会へ共有するために配信する

8. 今後のセミナーのあり方と担当について：福田委員長

セミナーの企画に関しては、委員会の決議事項とする
委員会で決議された内容は、委員長が理事会の承認を得る

9. POC セミナー参加者データの企業への開示について：岡

共催間では、参加者の名簿を共有する件に関して、次回理事会にて審議ができるよう準備する。

10. その他

- ・ 康理事が、POC 技術委員会担当理事として就任
- ・ 臨床検査振興協議会では、第一回日本在宅医療連合学会大会にて、臨床検査共催シンポジウムを開催、POCT 機器の展示を実施したとの報告が岡よりあり
- ・ 乗船委員を当委員会から評議員として推薦し、理事会にて承認された。
- ・ 日臨技岡田委員から、スキルアップセミナーについては2020年度から日臨技認定センターに関するセミナーのみ開催し、POC 技術委員会単独は行わない
- ・ 2020年度からのスキルアップセミナーは地臨技でなく日臨技が担当する

【次回委員会】

日本臨床検査自動化学会 春季セミナー2020年4月4日（土）～5日（日）
学術委員会は4日（土）午後 会場：沖縄県市町村自治会館

第 71 回 POC セミナー（JSCLA 第 51 回大会/企業共催）企画

テーマ	「Point of Care Testing における精度保証」
サブタイトル	～検査前および検査後プロセスを中心に～
概要	<p>2018 年 12 月 1 日に施行された医療法改正において、臨床検査技師による精度保証・精度管理が重要視されているが、POCT の精度保証については責任者や実施内容が明確化されていないのが実情である。今回のセミナーでは座学において、POCT 機器・試薬の精度管理に検査前プロセス、検査後プロセスを加えた「POCT の精度保証」についての知識習得を目指す。</p> <p>また実習では精度保証に拘らず、検体採取が簡便な尿検体で測定可能な多種多様の POCT 対応機器・試薬を実際に経験していただく。</p>
実施概要	
開催形式	日本臨床検査自動化学会第 51 回大会と企業との共催
開催日時	2019 年 10 月 3 日（木） 13:00～17:00
開催場所	パシフィコ横浜
取得単位	4 時間 4 単位（総論 2、測定技術 1、運用技術 1）
募集人数	130 名
参加料	学会登録が必要（学会参加費に含まれる）
セミナー 幹事	<p>太田麻衣子 亀田総合病院 臨床検査部／JSCLA POC 技術委員会委員</p> <p>竹澤 理子 三井記念病院 臨床検査部／JSCLA POC 技術委員会委員</p> <p>櫛引 健一 和泉市立総合医療センター／JSCLA POC 技術委員会幹事委員</p> <p>山崎 家春 株式会社ビー・エム・エル／JSCLA POC 技術委員会委員</p> <p>小林 隆 栄研化学株式会社／JSCLA POC 技術委員会幹事委員</p> <p>奥田 優子 東邦大学医療センター大森病院／JSCLA POC 技術委員会委員</p> <p>岡 尚人 ラジオメーター株式会社／JSCLA POC 技術委員会委員事務局補佐</p>
プログラム	
講演	<p><第 1 会場></p> <p>1. 13:10～14:00 講演 I（50 分） 司会：山崎家春，小林 隆 POCT における精度保証（QA、quality assurance）の基本 一般社団法人 臨床検査基準測定機構 桑 克彦先生</p> <p>2. 14:00～14:20 講演 II（20 分） 司会：山崎家春，小林 隆 病院 POCT における精度保証の実践例 天理よろづ相談所病院 臨床検査部 木下 真紀先生</p> <p>3. 14:30～15:00 講演 III（30 分） 司会：櫛引健一 尿検査の精度保証は可能か？ 慶應義塾大学医学部 臨床検査医学 菊池 春人先生</p>

<p>実習</p>	<p><第2会場> POCT のリスクマネジメントをテーマに尿検体を試料とする POCT 対応機器・試薬を経験する。9 ブース、1 グループ 15 名程度を予定 司会：太田麻衣子、竹澤 理子</p>
<p>経費 備考</p>	<p>1. 会員以外講師への謝金・宿泊・交通費は自動化学会から支出 2. 機器・試薬等は共催企業からの提供</p>

第 72 回 POC セミナー

(第 66 回日本臨床検査医学会学術集会との共催)

オンラインセッション

テーマ	「活かす！POCT 感染症検査」 ～備えあれば憂いなし！POCT と感染症について学ぼう～	
概要	感染症診断における POCT (Point of Care Testing) の利用は欠くことが出来ない。その範囲は病院、衛生検査所のみならず診療所、クリニックにおいても利用されており、今後は在宅医療などへも広がって行くものと思われる。本セミナーにおいては、感染症における POCT の役割・意義あるいはピットホールなども含めて、臨床医、臨床検査技師それぞれの立場からの講演を予定している。また、毎年のように新しく開発される POCT 機器、試薬などについても最新の知見を得られるように企画している。日常の検査における悩みや疑問を解決しつつ、最新の情報についても広く学べる内容を用意する。	
実施概要		
開催形式	第 66 回日本臨床検査医学会学術集会と (一社) 日本臨床検査自動化学会の共催企画	
開催日時	令和元年 11 月 24 日 (日) 10:00~12:00 (受付開始 9:30)	
開催場所	第 6 会場 岡山コンベンションセンター 3 階 301	
取得単位	2 単位 (総論) 内科専門医研修制度申請	
募集人数	70 名	
幹事 敬称略	後藤 慎一	春日井市民病院/JSCLA POC 技術委員会事務局
	木下 敬一郎	鳥取赤十字病院/JSCLA POC 技術委員会委員
	乗船 政幸	福山医療センター/JSCLA POC 技術委員会委員
	服部 聡	公立西知多総合病院/JSCLA POC 技術委員会委員
	福田 滋弘	シスメックス株式会社/JSCLA POC 技術委員会委員
	小林 隆	栄研化学株式会社/JSCLA POC 技術委員会幹事委員
講師及び 内容	1. 10:00~10:30 教育講演 (30分) 座長: 木下 敬一郎 臨床検査技師の考える、感染症診療における POCT の役割 川崎医科大学附属病院 中央検査部 技師長 河口 豊先生 2. 10:30~10:54 企業講演 (24分8分×3社) 司会: 小林 隆、福田 滋弘 三社: 旭化成ファーマ株式会社、デンカ生研株式会社、富士フイルム株式会社 3. 10:55~11:55 特別講演 (60分) 座長: 服部 聡 感染症診療における微生物迅速診断の意義 金沢医科大学 臨床感染症学 教授 飯沼 由嗣先生	
参加費 経費・備考	1. 参加費は大会登録料に含まれる (第 66 回 JSLM 学術集会への参加登録が必須) 2. 企業からの最新技術レクチャーを実施する	

第 74 回 POC セミナー開催概要(案)

(第 30 回生物試料分析科学会年次学術集会)

テーマ	コテコテの救急医療 ～命をつなぐ医師と技師の物語～		
概要	<p>救急医療の現場では、治療開始までの時間が患者転帰を大きく左右する。POCT は患者の傍らで医療従事者が行う検査であり、迅速に検査結果を得られる。そのため救急医療の現場には必要不可欠であり、治療方針の決定の肝である。</p> <p>今回のセミナーは大臨技医学検査学会とも共催であるため、普段、POCT を使用していない方、POCT に関して詳しくない方にも気軽に参加していただきたいと考えている。さらに、POCT の重要性について救急医療の実際を通じて学び、少しでも POCT への興味を深める内容にしたい。</p>		
実施概要			
開催形式	第 30 回生物試料分析科学会・年次学術集会（第 30 回記念大会） 第 4 回大臨技医学検査学会との合同開催、日本臨床検査自動化学会との共催		
開催日時	2 月 2 日（日） 10：00 ～ 12：00		
開催場所	千里ライフサイエンスセンター		
取得単位	総論 2 単位（案）		
募集人数	70 名		
参加費	学会登録が必要（学会参加費に含まれる）		
セミナー 幹事 敬称略	服部 聡	西知多総合病院	／JSCLA POC 技術委員会委員
	三好 雅士	徳島大学病院	／JSCLA POC 技術委員会委員
	木下 陽介	山陰労災病院	／JSCLA POC 技術委員会委員
	山崎 家春	BML・東京医科大学	／JSCLA POC 技術委員会委員
	榎引 健一	和泉市立総合医療センター	／JSCLA POC 技術委員会幹事委員
	山田 修	岡崎市立愛知病院	／JSCLA POC 技術委員会オブザーバー
	岡 尚人	ラジオメーター	／JSCLA POC 技術委員会委員事務局補佐
	小林 隆	栄研化学株式会社	／JSCLA POC 技術委員会幹事委員
プログラム			
講演	<p style="text-align: right;">座長) 服部 聡 木下 陽介</p> <p>教育講演) 10：00 ～ 10：45 ドラマには出てこない臨床検査技師 ～診断を支える POCT～ (案) 藪 圭介 先生 (枚方公済病院 臨床検査科)</p> <p>特別講演) 10：45 ～ 12：00 ドラマにはできない救急医療 ～だから救急医療はおもしろい～ (案) 薬師寺 泰匡 先生 (岸和田徳洲会病院 救命救急センター)</p>		
その他			
経費	講師交通費は生物試料分析科学会年次学術集会から支出		